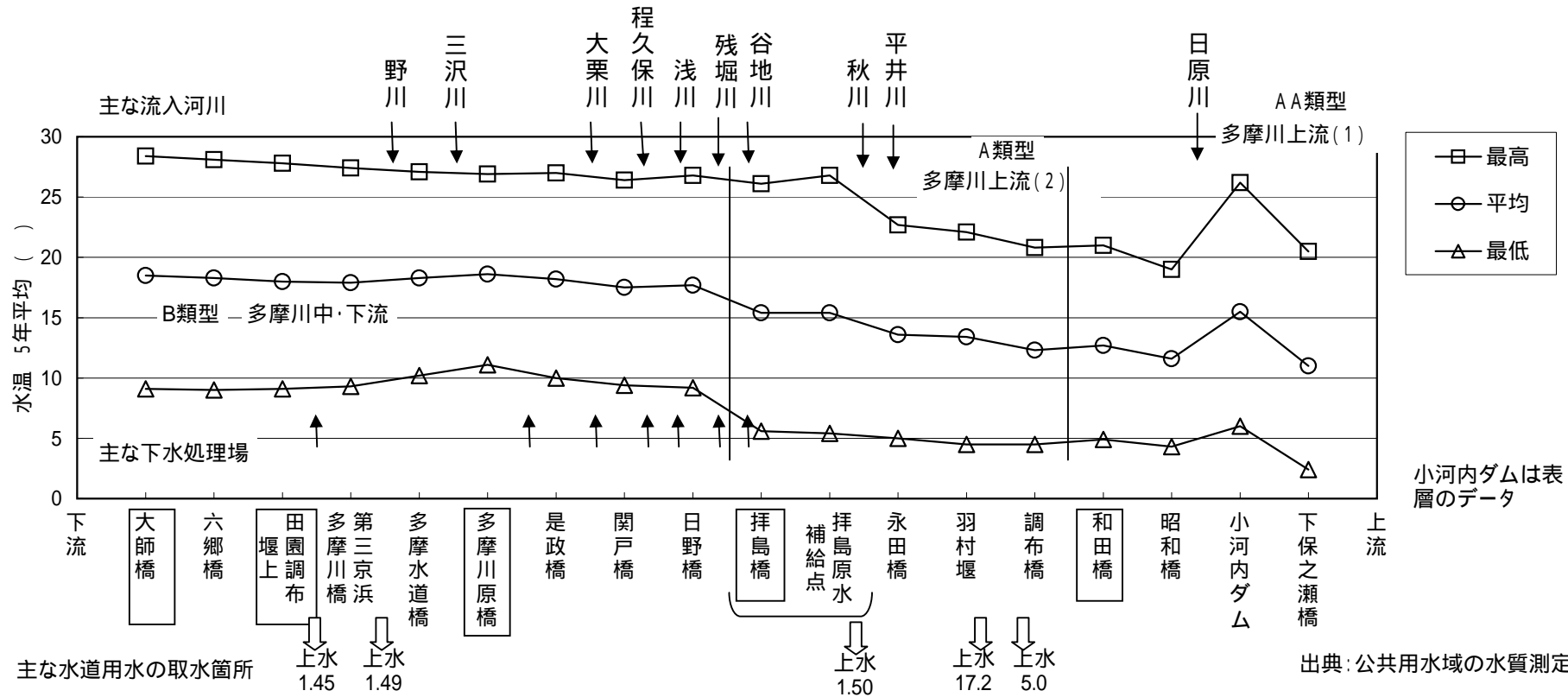




図2.7 多摩川【水温】

公共用水域水質データ(平成11~平成15年度)より





主な下水処理場 (計画が1.0m³/s以上の処理場)

No,	処理場名	放流水質(H14年平均)		放流量(m ³ /s)	
		水温()	BOD(mg/l)	H14実績	計画
	多摩川上流処理場	22.9	3.0	3.16	3.16
	八王子処理場	22.4	1.0	1.20	4.31
	北多摩二号処理場	21.5	2.0	0.89	1.22
	浅川処理場	22.3	1.0	1.21	2.34
	南多摩処理場	22.2	1.0	2.03	4.38
	北多摩一号処理場	23.2	3.0	2.51	3.14
	等々力水処理センター	22.9	12.0	3.47	4.58

出典: (社)日本下水道協会 平成14年度下水道統計(行政編)

最高、平均、最低は、平成11～15年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値、年平均値、年最低値を求め、5カ年でそれぞれ平均した値である。

一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

主な水道用水の取水箇所

(水利権が1.0m³/s以上)

数字は水利権量(m³/s)

出典: 水辺を歩こう多摩川ハンドブック(国土交通省)

図2.8 水温の水質縦断分布



図2.9 多摩川【河床材料】

国土交通省 平成7年度「多摩川水系(多摩川・浅川)河川調査報告書」より
 [Orange Box] : 東京都「平成9年度 東京の川の生きものと環境(その1)」より
 [White Box] : 環境省調査(平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果)より

0 1 2 4 6 8 km

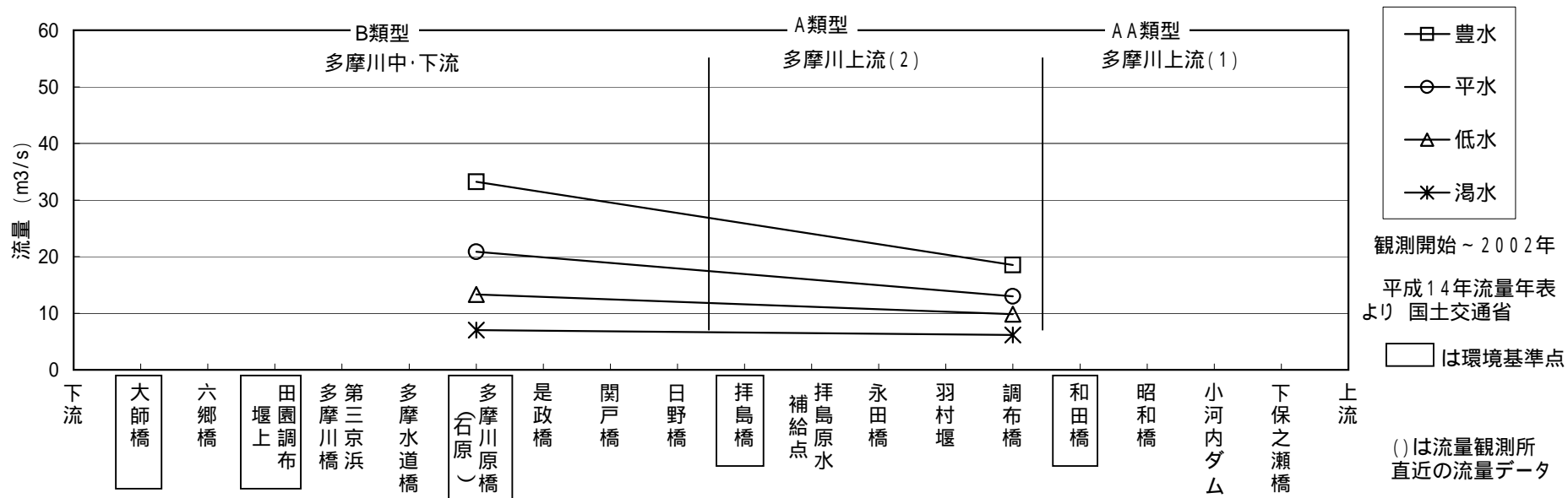


図2.10 流量の縦断分布

多摩川

(国土交通省資料を基に環境省で作成)

河川横断工作物の凡例

- 堰、ダム、床固め・・・魚道有
- 堰、ダム、床固め・・・魚道無

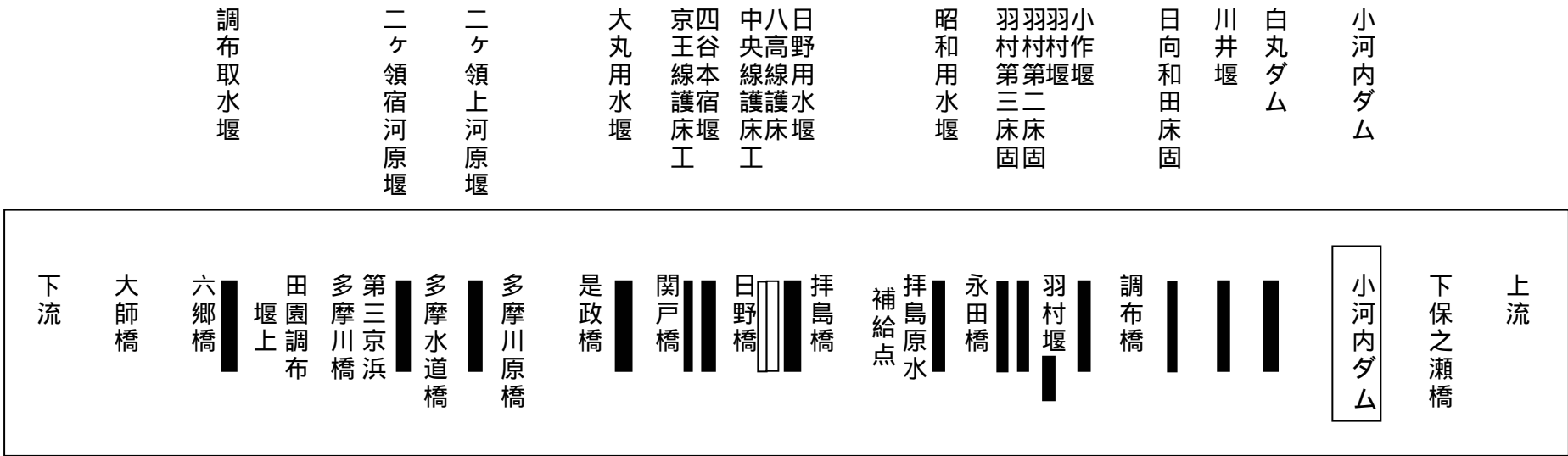


図2.11 主な河川横断工作物

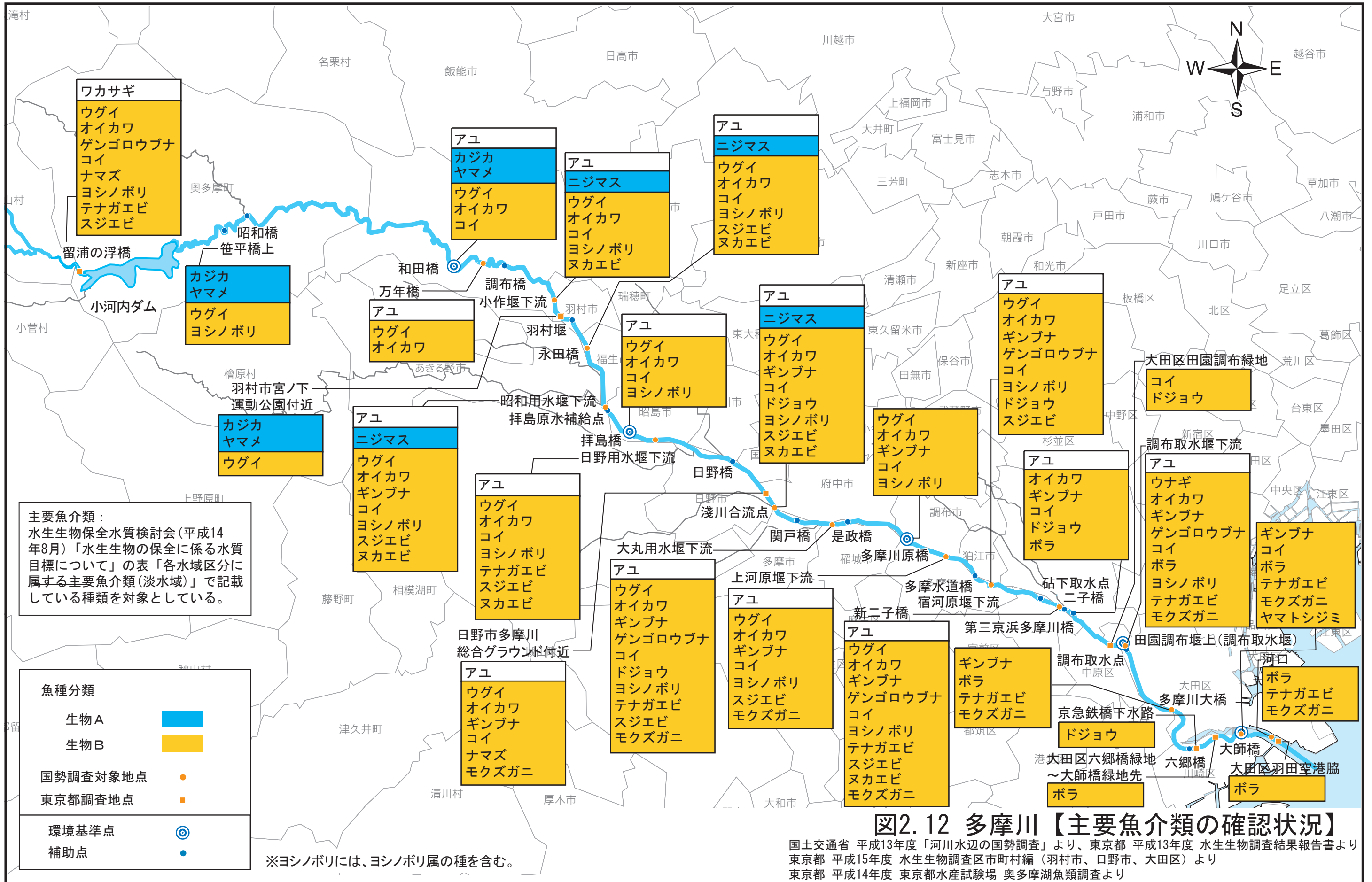


図2.12 多摩川【主要魚介類の確認状況】

国土交通省 平成13年度「河川水辺の国勢調査」より、東京都 平成13年度 水生生物調査結果報告書より
東京都 平成15年度 水生生物調査区市町村編（羽村市、日野市、大田区）より
東京都 平成14年度 東京都水産試験場 奥多摩湖魚類調査より

表2.2 多摩川魚介類の確認状況(既存調査結果)(3/3)

項目・分類・科・種名		調査地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
その他	魚類	ハゼ科	アシシロハゼ																												
		ハゼ科	アベハゼ																												
		ハゼ科	ウキゴリ																												
		ハゼ科	ウキゴリ(Gymnogobius)属の一種																												
		ハゼ科	ウロハゼ																												
		ハゼ科	シモフリシマハゼ																												
		ハゼ科	ジュズカケハゼ																												
		ハゼ科	トビハゼ																												
		ハゼ科	ヌマチチブ																												
		ハゼ科	ヒメハゼ																												
		ハゼ科	ピリング																												
		ハゼ科	マサゴハゼ																												
		ハゼ科	マハゼ																												
		バス科	オオクチバス																												
		ヒイラギ科	ヒイラギ																												
		フサカサゴ科	クロソイ																												
		フサカサゴ科	メバル																												
		コチ科	コチ																												
		カレイ科	カレイ																												
	甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ																												

分類体系は山溪カラー名鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典: 東京都水産試験場、奥多摩湖魚類調査、2002年8月調査(1)
 調査機関・名称・年度 東京都、水生生物調査、2000年調査(2,3,9,14,18,20,25)
 ()内は調査地点 国土交通省、河川水辺の国勢調査、2001年度春・秋調査(4,5,7,8,10,12,13,15,16,17,21,22,26,27)
 羽村市、河川生物調査、2003年5月・10月調査(6)
 日野市、河川生物調査、2003年7月調査(11)
 大田区、水生生物調査、2003年5月・7月・9月調査(19,23,24,28)

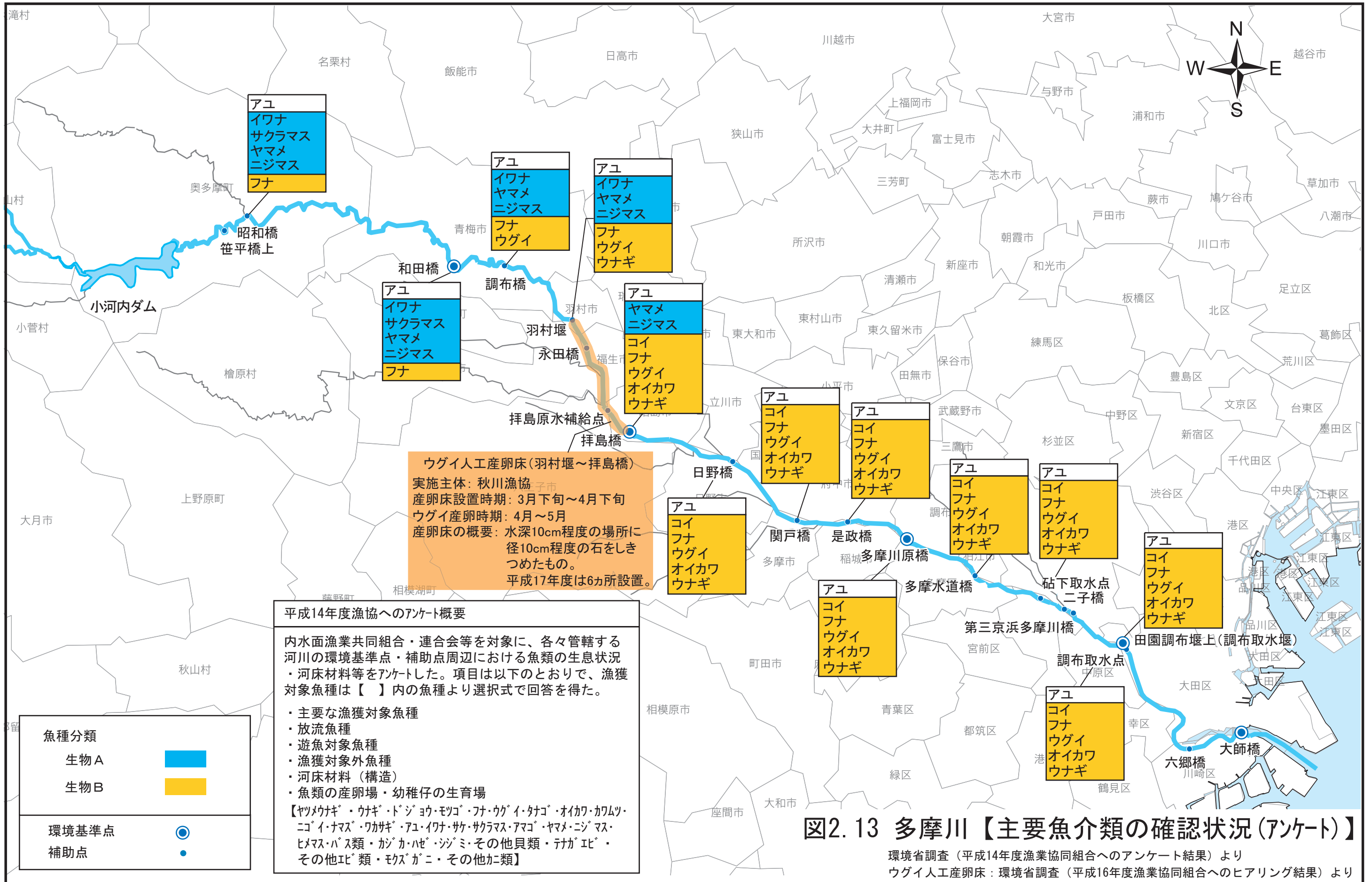


図2.13 多摩川【主要魚介類の確認状況(アンケート)】

環境省調査(平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果)より
 ウグイ人工産卵床: 環境省調査(平成16年度漁業協同組合へのヒアリング結果)より

